

令和7年3月26日

甲府市立甲府商科専門学校
校長 井上耕史様

学校関係者評価委員会
委員長 田中雅明

令和6年度学校関係者評価結果報告書

学校関係者評価結果を別紙のとおり報告いたします。

1 学校関係者評価委員

田中 雅明（関係学校：甲府商業高校校長）
花田 智 （企業・団体：甲府商工会議所事務局次長）
長田 工（地域住民：西下条自治会長）
佐野 律喜（卒業生：同窓会長）
向山 哲（保護者：後援会長）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会	日時	令和6年6月11日（火）午後2時から3時30分まで
	会場	甲府商科専門学校 西大教室
第2回委員会	日時	令和7年2月6日（木）午後2時から3時30分まで
	会場	甲府商科専門学校 西大教室

3 評価結果

別紙のとおり

評価項目ごとの学校関係者評価結果

(1) 教育理念・目的・人材育成像

【評価できる点】

- 教育理念・目的・人材育成像は職員、学生、ご家族から評価を得ている。

(2) 学校運営

【評価できる点】

- ビジョンとミッションが年度当初に文書で明確に提示されている。
- 運営組織や意思決定機能は規則等で整備され、適切に運用されている。
- 人事、給与に関する規程等は、市の条例及び教育委員会規則等において整備されている。
- 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されている。校長を中心に、職務上の利害関係者との対応、関係法令に即した執行と市民サービスの向上のため、職務専念義務や勤務時間の厳守、交通法規の遵守、情報漏洩の防止、学生の安全確保等に努めている。
- 成績管理システム、出欠席管理システム、入試処理システムなどに加え、校内グループセッションでは、教職員のスケジュール管理や諸連絡などにより、業務の効率化が図られている。
- ホームページや「学校だより」「SHU 活」等を通じて、学校の近況等が学生や家族に適切に伝わっている。
- 企業訪問により、教育目標や活動状況等の情報提供を行っている。

(3) 教育活動

【評価できる点】

- 「地場企業に貢献する人材を育成する」という教育理念に沿った教育課程を編成しており、高い就職率を実現している。特に11年連続で就職率100%を達成していることは高く評価できる。
- 平成29年度から山梨学院大学経営学部今井久教授と山梨中銀経営コンサルティング株式会社とのコラボによる、ビックデータを集めたリーサスを活用した「山梨地域経済概論」を実施し8年目となる。今年度はさらに内容を発展させ、NTT 東日本 五十嵐 壘山梨支店長の提案により、農業、防災、教育の3分野においてICTを活用した課題解決をテーマにグループごとに研究した。年度末に校内発表会を行い、さらに優秀な発表を行った3グループは甲府総合市民会館にて関係者の前でステージ発表を行った。また、6グループはホワイエにてポスターセッションによる発表も行った。この活動により社会人基礎力を向上させる活動であり、大いに評価できる。

- 会計情報科では、中小企業から大企業まで対応できる経理の知識に加え、実社会で必要となる表計算などの情報処理技術を習得できるカリキュラムとなっている。情報処理科では、プログラミングなどのソフトウェア教育に重心をおきつつ、デジタル回路などのハードウェア教育も取り入れて、バランスよく学べるカリキュラムとなっている。また新カリキュラムの導入により、資格取得率も向上され効果を得ている。
- 企業関係者を講師にした科目を実施するなど、両科とも職業実践専門課程の趣旨を踏まえ、職業教育の視点に立った指導を取り入れている。
- 教育課程編成委員会の委員に企業等関係者等を委嘱するなど、企業や業界団体との連携によりカリキュラムの見直しと作成を行っている。
- 日本商工会議所簿記1級、全国経理教育協会簿記上級、経済産業省主催応用情報技術者などの上位資格や日本商工会議所簿記2級、経済産業省主催基本情報技術者など実務に必要な資格に合格するため、必要な事項を過不足なくカリキュラムに取り入れている。その結果、資格取得にも対応した、実務に十分な知識が得られるカリキュラムになっている。
- 企業において最低限必要とされる検定や資格試験への全ての学生の合格を第一目標とした。検定試験結果は次のとおり、
 - 会計情報科：1年次に簿記検定3級（日本商工会議所）、
ワープロ検定2級、表計算検定2級（中央能力開発協会）
 - 情報処理科：1年次にITパスポート試験（国家試験）、
Javaプログラミング能力認定検定3級（サーティファイ）これらの検定合格後には、上位試験である簿記検定1級・2級（日商）、応用情報技術者試験、基本情報技術者試験等への合格を目標とした指導を行っている。今年度の合格実績は次の上位検定試験の合格者を出している。
 - 日本商工会議所 簿記検定1級 1名（3年連続）
- 成績評価・単位認定・進級卒業判定が客観的な数値として明確になっている。
- 教員や学生による授業評価も実施するなど、授業の改善に積極的に取り組み、山梨県教育委員会から商業科・情報科の指導主事の授業参観と、その後の研究協議で指導助言により、さらなる授業の質の向上に努めている。特に今年度は、「学生主体の授業づくり」に力を入れており、学生の主体性・協働性を伸ばしている点、教員の資質能力の向上させている点が大いに評価できる。今後も教員研修会や相互授業参観を通して、学生主体となる授業をデザインし実践していただきたい。
特に来年度は高校時代に一人一台端末を利用した学習を行っている生徒が入学してくるので、ICTを利活用した授業実践を増やしてほしい。

(4) 学修成果

【評価できる点】

- 担任、学科長、進路支援室が一体となって学生から得た情報を相互に交換し、個々の学生の人間性や専門性の把握をもとに進路支援を行っている。
- 学校、ハローワーク、甲府市産業部、山梨県中小企業団体中央会等との連携を緊密にしなが、学生の進路に関する適切な支援体制を整えている。また、企業の人事担当者やハローワークのスタッフ等による就職模擬面接を取り入れるなど、手厚い支援を行っている。
- 企業、行政、関係諸団体等主催の進路に関する校外行事の参加を推奨し、現場での指導も行っている。
- 校内行事としては、就活強化プログラムや保護者対象の就活講座などを通して、学生、家庭、そして学校が一体となった支援を行っている。
- 外部の講師を招いて社会人教育や職業教育等の講義を行っている。
- 近年の就職率は年々向上しており、県内就職率11年連続100%となっている。
- 令和6年度に令和6年3月卒業生が就職した県内企業24社（昨年訪問した企業を除く）にヒアリングを実施し、定着状況の調査を行った。

(5) 学生支援

【評価できる点】

- 毎日ホームルームを行うなど、クラス担任が学生の心身の状況をよく把握している。
- 学生支援委員会を設置し、職員が情報を共有し、学校全体で学生の抱える問題解決に当たっている。
- 特別な支援を必要とする学生については、学生・保護者への対応と共にスクールソーシャルワーカーや専門機関と連携し、さらに効果的な対応を進めている。
- 特別な事情がある場合は、授業料の減額又は免除が可能な旨要綱に規定されている。また、日本学生支援機構の奨学金（第一種、第二種）等により、学生負担を軽減することで学業に専念できるようにしている。
- 成績不振や毎日のホームルーム及び授業の出席状況を一時間毎に把握し、欠席が多い学生などは、保護者ときめ細かく連絡を取り合う体制になっている。
- 学校行事は、学生間や教員とのコミュニケーションを図り、社会が求める人材を育成する目的で、年間計画に沿って効率よく実施されている。校内体育大会や校外研修、防災避難訓練、教養講座などを実施している。教養講座では講座の中で、学生同士が話し合いをして、講師と交流する時間をつくったことが、画期的であった。

(6) 教育環境

【評価できる点】

- 施設の基幹部分（校舎、空調、照明、トイレ等）と老朽化が進んでいる部分については、緊急度・重要度を勘案しながら修繕計画を作成し、年次的に適時必要な補修・修繕・維持管理している。しかし、施設の老朽化が進んでいることで、アンケート結果は学生及び教職員の評価は低くなっている。
また、年に一度、環境調査（水質・空気）及び教育委員会による施設調査も実施している。
- 令和7年度にWi-Fi環境の整備や教育教材の追加整備を進めていることは大いに評価できる。これにより、学生の確保、訴求力という面でも効果的であるのではないかと。
- インターンシップについては準備段階から受け入れ企業選定の指導や、研修中の職員の訪問により企業への挨拶・学生の激励を行うなど、教育体制の整備に努めている。
- 教育機器のパソコン等については、5年毎に更新し必要十分な性能の確保に努めている。
- 避難訓練のマニュアルを作成し、法令に基づく設備の点検、年2回の避難訓練を実施している。
- 自然災害による帰宅困難者の対応のため、食料の備蓄なども行っている。
- 危機管理マニュアルを整備している。

(7) 学生の受入れ募集

【評価できる点】

- 学生募集のために次のような活動を行っている。
オープンキャンパス、入試説明会、希望者へのパンフレット・募集要項の配布、高校訪問、高等学校主催の学校説明会への参加、新聞、雑誌等への広告掲載を適正に行っている。昨年度に引き続きに長野県岡谷会場の進学相談会に参加し、静岡県の高校訪問し、広報活動を行った。また、長野県及び静岡県の本県との隣接エリアの高校へ、学校紹介パンフレット等を送付した。
- オープンキャンパスはその参加者の入学へ繋がるケースが増加しており効果が現れている。
- 学校パンフレットも年々改善がなされ、学校紹介に効果をあげている。
- 学校納付金は、同分野の学校と比べて低く設定されている。

(8) 財務

【評価できる点】

- 甲府市の財務会計に関する条例や規則等に則り、予算、執行、会計監査、決算は適正に処理され、公開されている。

(9) 法令等の遵守

【評価できる点】

- 規則、マニュアル等に則り、学校関係者や社会に対するコンプライアンスは適正に維持されている。
- 市の個人情報保護条例に基づき、個人情報 は適正に管理されている。
- 学生の氏名、肖像等をホームページや「学校だより」等に掲載する承諾を学生及び保護者から得ている。
- 自己点検・自己評価については、学生・保護者アンケートを実施し、問題の掘り起こしと改善に努めている。また、学校関係者評価委員会において結果を報告し、評価をいただいている。

(10) 社会貢献・地域貢献

【評価できる点】

- 本校の敷地は災害時の広域避難場所に指定されている。具体的には、本校の敷地は災害時の広域避難場所に指定されている。また、夜間や休日にテニスコートを地域に開放している。
- 学校の教育資源や施設が社会・地域に貢献できるための方策を検討している。
- 学生ボランティア等の活動の活動については、以下に示す活動を行っている。
 - ・甲府市中央商店街の七夕飾りつけへの協力
 - ・甲府市成人の日のつどいボランティアスタッフ
 - ・山梨テクノICTメッセへのブース出展
 - ・西下条地区グラウンドゴルフ愛好会との交流試合
 - ・献血
 - ・学生の発案・企画によるフードバンク山梨への協力
 - ・高等学校等への学生派遣事業（学生が講師等）特に学生自ら声をあげて始まったフードバンク協力や学生が講師等として授業実践を行った学生派遣事業は大いに評価できる。
- 「長期高度人材育成コース」対象校として認定されている。